

### 【日本藻類学会論文賞授与】

第14回日本藻類学会論文賞受賞者の発表および授与が行われた。これは2009年から2010年にかけて出版された英文誌「Phycological Research」56巻4号ならびに57巻1～4号の中から、規定に従い審査員の投票によって選ばれ、総会前日に開催された合同編集委員会および評議員会です承されたものである。今回は下記の2編の論文が選ばれ、論文の著者に賞状および記念品が授与された。

Goro Tanifuji, Naoko T. Onodera and Yoshiaki Hara.  
Nucleomorph genome diversity and its phylogenetic implications in cryptomonad algae.  
Phycological Research 58 (3): 230–237 (2010).

Gregory N. Nishihara and Ryuta Terada.  
Species richness of marine macrophytes is correlated to a wave exposure gradient.  
Phycological Research 58 (4): 280–292 (2010).

### 【日本藻類学会研究奨励賞授与】

第7回日本藻類学会研究奨励賞の発表と授与が行われた。同賞は藻類学及びその関連分野において優れた研究成果をあげた若手研究者を表彰するものであり、推薦委員会で授賞候補者が選ばれた後、評議員会です承されたものである。今回は平川泰久氏（カナダ・ブリティッシュコロンビア大学、クロラクニオン藻の葉緑体へのタンパク質輸送機構）が選ばれ、賞状および副賞（賞金10万円）が授与された。

## 日本藻類学会の東日本大震災への対応

### 学会員の皆様

このたびの大地震および津波災害においては多くの方が犠牲となりました。日本藻類学会として深い哀悼の意を表します。また、日本藻類学会会員を含む多くの方が被災されご不便な生活を強いられておられます。心よりお見舞い申し上げます。

日本藻類学会として、被災された会員の皆さまに対してどのような支援ができるのかについて、3月26日開催の評議員会、27日開催の総会で議論いたしました。その結果、まずは被災された方のニーズを的確に把握し、そのニーズに対して個々に対応していく体制を学会として整える必要があることが合意されました。

日本藻類学会では次のような対応をとることといたしました。

#### (1) ニーズの把握

- ・被災された方にとって必要な支援の内容を日本藻類学会事務局で集約します。
- ・ご自分がどのような支援が必要かをメール (sourui.aid@gmail.com)、ファックス (011-706-4851) 等で学会事務局までご連絡ください。
- ・どのような小さな支援依頼でも構いません。遠慮無くお知らせください。

#### (2) ニーズへの対応

- ・寄せられたニーズに対して、どのような分野の方に支援をお願いするのが適切かについて、事務局と支援が

必要な分野に関わりのある評議員等が中心となって検討し、すみやかに対応に当たります。

- ・支援の内容によっては、さらに多くの会員の支援が必要となります。そのような場合には、事務局・評議員等が窓口となって支援のお願いをいたします。ご協力をお願いいたします。

#### (3) 支援のお知らせ

- ・被災された方は、このホームページが見られない可能性もあります。日本藻類学会会員の皆さまにおかれましては、お知り合いの被災された会員にこのような支援の枠組みがあることを是非ともお知らせください。

支援には短期的なものと同期的なものが考えられます。日本藻類学会ではそのいずれにも対応していきたいと考えております。

#### 【考えられる支援の内容】

- ・研究室の一時的なスペース貸し出し
- ・被災した学生の一時的預かりと（必要ならば）指導
- ・培養株等の一時的預かり
- ・消失した文献等の補填（学会誌の場合には日本藻類学会のバックナンバーで対応できる可能性があります）など

日本藻類学会

会長 堀口健雄